



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年2月13日

上場会社名 株式会社イナリサーチ
 コード番号 2176 URL <http://www.ina-research.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中川賢司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長 (氏名) 野竹文彦

TEL 0265-72-6616

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	1,792	10.4	53		75		78	
2019年3月期第3四半期	1,623		50		74		77	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	26.06	
2019年3月期第3四半期	25.70	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	3,377	683	20.2	228.01
2019年3月期	3,242	761	23.5	254.08

(参考)自己資本 2020年3月期第3四半期 683百万円 2019年3月期 761百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,996	15.9	104	11.7	75	25.1	63	11.5	21.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	2,998,800 株	2019年3月期	2,998,800 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	株	2019年3月期	株
------------	---	----------	---

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	2,998,800 株	2019年3月期3Q	2,998,800 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照願います。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

国内製薬市場においては、薬価の改定が一段と進んだことを受け、当社の主要顧客である製薬会社は従来の低分子・高分子医薬品と併せて、より革新的な再生医療等製品、免疫療法、遺伝子治療等へ経営資源の集中を進めております。一方、世界の医薬品開発市場は各国の健康戦略や経済戦略も伴い着実に成長を続けており、アジア圏においても創薬市場は地道に拡大しつつあります。

このような中、当社は当第3四半期累計期間において、バイオ医薬品関連の高度分析機器や病理サービス強化のための機器への設備投資を行い、医薬品開発分野での対応可能領域の拡充を図ってまいりました。従来より注力しておりますSEND(米国食品医薬局(FDA)への新薬申請時に義務化されている非臨床試験データ標準フォーマット: Standard for Exchange of Nonclinical Data)の変換対応サービスについては、国内外を含めて顧客数は着実に増加しており、環境事業に次ぐ第3の事業へと成長しつつあります。

今期より開始いたしました、国内に無い特色ある試験を持つ欧州、米国のCRO(Contract Research Organization:以下「CRO」と言います。)の代理店事業については、国内企業への紹介営業を重ねたなか順調に取扱高は増加し、併せて当社の試験サービスとのシナジー効果も出始めております。

更に、当社の試験サービスの顧客拡大を目的として、台湾、シンガポールにおいて、現地の非臨床関連会社との代理店契約を締結いたしました。これについては同エリアでの宣伝活動を開始しております。

このように、受託試験事業全般に関しては、受注は好調に推移し、四半期累計期間をとおして、稼働率も高い水準を維持しましたが、複数の試験で委託者都合により、最終報告書提出が翌四半期以降に延期されたため、売上高は予算に届かず、営業損失53,610千円を計上しております。

環境事業におきましては、大学・民間企業の動物関連施設の多くが更新時期を迎えることで、市況は活発であり今後も活況が予想されることから、理化学機器販売会社等と連携した大型工事案件の取り込みを軸に、営業活動を実施しましたが、上半期において複数の案件で発注に慎重な姿勢が見られたことから、当第3四半期累計期間では、売上高及び受注ともに対前年同期比では減少しております。

これらの結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高は1,792,659千円(前年同四半期比10.4%増)、営業損失は53,610千円(前年同四半期は営業損失50,887千円)、経常損失は75,705千円(前年同四半期は経常損失74,643千円)、四半期純損失は78,155千円(前年同四半期は四半期純損失77,093千円)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(受託試験)

当事業部門におきましては、国内及びアジアを中心とする海外で、積極的な営業展開を進めた他、他社に先行するSENDサービスへの増員、研究設備投資による拡充を進めた結果、前年同期より受注が増加し、四半期累計期間をとおして高い稼働率を維持しましたが、人件費及び海外代理店への手数料の増加の影響もあり、売上高は前年同期比で増加しましたが、営業損失はやや改善するに留まりました。その結果、売上高は1,680,058千円(前年同四半期比14.9%増)、営業損失は53,058千円(前年同四半期は営業損失55,451千円)となりました。

(環境)

当事業部門におきましては、当第3四半期累計期間においては、完成引渡しとなる案件が少なかったことから、売上高は112,600千円(前年同四半期比30.1%減)、営業損失は551千円(前年同四半期は営業利益4,564千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は1,952,007千円となり、前事業年度末に比べ97,418千円増加しました。主な内訳は、売上債権の回収や前受金の増加等に伴う現金及び預金の増加174,107千円、売上債権の回収による受取手形及び売掛金の減少436,801千円、受注残高の増加による仕掛品の増加188,362千円、原材料及び貯蔵品の増加37,679千円であります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は1,425,548千円となり、前事業年度末に比べ37,952千円増加しました。主な内訳は、有形固定資産の取得によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は1,676,391千円となり、前事業年度末に比べ232,706千円増加しました。主な内訳は、返済の実行による短期借入金の減少100,000千円、前受金の増加451,185千円であります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は1,017,380千円となり、前事業年度末に比べ19,178千円減少しました。主な内訳は、返済の実行による長期借入金の減少75,000千円、有形固定資産の取得に伴うリース債務計上等によるその他固定負債の増加55,821千円であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は683,783千円となり、前事業年度末に比べ78,155千円減少しました。これは、四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点では計画通り進捗しており、2019年5月14日に公表いたしました数値から修正は行っておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	382,298	556,406
受取手形及び売掛金	601,193	164,392
商品及び製品	940	905
仕掛品	615,523	803,886
原材料及び貯蔵品	150,600	188,280
その他	104,031	238,135
流動資産合計	1,854,588	1,952,007
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,014,269	3,018,779
減価償却累計額	△2,441,626	△2,476,451
建物(純額)	572,642	542,328
土地	613,912	613,912
その他	1,133,673	924,710
減価償却累計額	△990,678	△710,202
その他(純額)	142,995	214,507
有形固定資産合計	1,329,550	1,370,748
無形固定資産	9,509	14,959
投資その他の資産		
その他	49,435	40,740
貸倒引当金	△900	△900
投資その他の資産合計	48,535	39,840
固定資産合計	1,387,595	1,425,548
資産合計	3,242,183	3,377,555
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	393,624	336,634
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	10,147	4,744
前受金	545,931	997,116
賞与引当金	88,484	35,142
受注損失引当金	5,061	3,472
その他	200,436	199,281
流動負債合計	1,443,685	1,676,391
固定負債		
長期借入金	900,000	825,000
その他	136,558	192,380
固定負債合計	1,036,558	1,017,380
負債合計	2,480,244	2,693,772
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,940	684,940
資本剰余金	600,940	600,940
利益剰余金	△523,940	△602,096
株主資本合計	761,939	683,783
純資産合計	761,939	683,783
負債純資産合計	3,242,183	3,377,555

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	1,623,589	1,792,659
売上原価	1,271,181	1,344,239
売上総利益	352,408	448,419
販売費及び一般管理費	403,296	502,029
営業損失(△)	△50,887	△53,610
営業外収益		
受取賃貸料	2,368	2,513
補助金収入	270	168
その他	1,781	151
営業外収益合計	4,420	2,833
営業外費用		
支払利息	27,540	21,127
為替差損	519	2,153
その他	115	1,647
営業外費用合計	28,176	24,928
経常損失(△)	△74,643	△75,705
税引前四半期純損失(△)	△74,643	△75,705
法人税、住民税及び事業税	2,450	2,450
法人税等合計	2,450	2,450
四半期純損失(△)	△77,093	△78,155

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	受託試験	環境	合計 (注)
売上高			
外部顧客への売上高	1,462,568	161,021	1,623,589
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,462,568	161,021	1,623,589
セグメント利益又は損失 (△)	△55,451	4,564	△50,887

(注) セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期損益計算書上の営業損失であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	受託試験	環境	合計 (注)
売上高			
外部顧客への売上高	1,680,058	112,600	1,792,659
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,680,058	112,600	1,792,659
セグメント損失 (△)	△53,058	△551	△53,610

(注) セグメント損失 (△) の合計額は、四半期損益計算書上の営業損失であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。